

2025年 第54回 日本童謡賞

一般社団法人日本童謡協会は、こどもの歌の振興を図るため制定した『日本童謡賞』の第54回贈呈者を下記の通り決めました。

◆日本童謡賞（賞状、盾、賞金10万円）

・該当なし

◆日本童謡賞・特別賞（賞状、盾）

・横山だいすけ（第11代歌のお兄さん）

・歌のふるさと紀行「歌碑はうたう」～童謡・唱歌・歌曲～
日本コロムビア株式会社

◆日本童謡協会 奨励賞（賞状）

・高月啓充（日本童謡協会作曲会員）

<贈呈理由>

◆日本童謡賞 特別賞

横山だいすけ

横山だいすけ氏は、NHK「おかあさんといっしょ」に第11代歌のお兄さんとして番組史上歴代最長の9年間出演し、絶大な人気を博した。番組卒業後もCDのリリース、舞台出演、コンサートなど精力的な活動をおこなっているが、とくに子どもたちに歌を聴いてもらうことを大切にしており、家族向け、子ども向けのものが多い。2023年にはCD「だいすけのどうよう」という童謡集を発表。2024年には「笑顔にドッキューン！」というオリジナルアルバムをリリース。作曲家の中川ひろたか氏を中心にしながら、自らも作詞に挑戦し、新しい子どものうたの世界を作り出している。

一貫した、童謡、こどものうたへの思いと、真摯な取り組み、そして精力的な活動に対し日本童謡賞特別賞を贈呈する。

（新沢としひこ 記）

歌のふるさと紀行 歌碑はうたう ～童謡・唱歌・歌曲～ 日本コロムビア株式会社

この作品は1990年に発売された「歌碑はうたう」シリーズを、一部改訂してひとつにまとめ、再構成してCD四枚組のボックスにしたものである。非常に充実した100ページにわたる解説本がつき、資料的な価値も高い。令和のこの時代に、あらためて歌碑にもなった名曲童謡をまとめたこの作品は歴史的な価値も高く、製作に関わった方々の童謡にたいする深い造詣と愛情を感じる。また収録されている楽曲の録音、編曲、歌唱も素晴らしく今残しておくべきものとしての意義を強く感じ、日本童謡賞特別賞を贈呈する。

（新沢としひこ 記）

<日本童謡協会 奨励賞>

この賞は、令和3年度より新設されたもので、その地に根ざす文化所産に対する強い思いと、童謡への深い愛情とその業績に対して贈られます。

◆日本童謡協会 奨励賞

高月 啓充

高月啓充氏は岡山県笠岡市在住の日本童謡協会作曲会員。

岡山大学農学部卒業後 県立高等学校に奉職、音楽は独学ながら臨時免許証を取得し8年間「音楽」を担当した。

県立高等学校長を退職後作曲家としての活動をはじめ、全国の童謡詩人との交流から数多くの童謡作品を生み出している。

氏の幅広い活動が童謡の普及・発展に深く寄与したことを称え日本童謡協会奨励賞を贈呈します。

(早川史郎 記)

<日本童謡賞選考委員会>

委員長 早川史郎

委員 アベタカヒロ 大竹典子 坂田おさむ

佐藤雅子 新沢としひこ 中村守孝

三平典子 宮中雲子

<受賞者略歴>

横山だいすけ

千葉県出身。2006年に国立音楽大学音楽学部声楽学科を卒業。

幼い頃から歌が大好きで、小学校3年生から大学卒業まで合唱を続ける。劇団四季時代は「ライオンキング」などの舞台に出演。NHK Eテレ『おかあさんといっしょ』では、番組史上歴代最長となる9年間“歌のお兄さん”を務める。卒業後は、ドラマ「警視庁いきもの係」「刑事ゼロ」や、声優として「リメンバー・ミー」などに出演。そのほかCM、舞台など活躍の場を広げている。ソロアーティストとしては初のオリジナルアルバム「歌袋」や童謡カバーアルバム「だいすけのどうよう」を発表。2024年4月には初の作詞にチャレンジした楽曲が含まれるニューアルバム『笑顔にドッキューン!』をリリースした。

2025年秋からはソロコンサート「マイ・ソングス・コンサート」のツアーが決定。

日本コロムビア株式会社

日本コロムビア株式会社は1910年に〔株〕日本蓄音機商会〕として創業。蓄音機の販売を始めた。

その後、蓄音機に掛けるソフトが必要となり、国産レコードの第1号を発売。レーベル名を「ニッポノホン」とし、子ども向けの「モモタロー・レコード」や「モモタロー蓄音機」を発売。

関東大震災で工場は壊滅するも、1927年には英国コロムビア、米国コロムビアと提携。第二次世界大戦中は〔日蓄工業（株）〕に改名するが、1946年に〔日本コロムビア（株）〕に改名し、大ヒット曲「リンゴの唄」を発売。戦前より、西條八十、古関裕而、古賀正男など専属作家を育て上げる。

1982年には世界に先駆け〔デジタル編集機〕〔CD〕〔CDプレーヤー〕を発売。世界に高い評価を得た。

2001年、メディア関連機器部門を分社化し、2002年に社名を〔コロムビアミュージックエンタテインメント（株）〕と改名。時代の流れに対応すべく、レコード会社初の携帯キャリアで聞ける〔モバイルコロムビア〕を開始。

2010年の創立100周年に〔日本コロムビア（株）〕に社名を戻し、アーカイブスの活用、新しい音楽やアーティストの発掘など、時代に沿った音楽の提供に邁進をしている。

高月啓充（たかつきひろみつ）

昭和12年1月元満州国新京市生まれ。

戦後、大学農学部を卒業し教職に就き、高校で農業と音楽を教える。

音楽は全て独学で、雑誌「合唱界」が公募した曲、「五人の娘っ子」混声4部が入選。

生徒達の詩に作曲した「童謡メドレー」がNHKあなたのメロディーに採用される。

平成2年、日本童謡協会と鳥取県が募集した「第1回ふるさと音楽賞創作童謡コンクール」で、「コスモスの花」が最優秀賞を受賞、その後各地のコンクールにも次々入賞し、全国の作詩家と交流をしながら作曲を続ける。

現在は岡山県笠岡市、井原市の公民館講座の講師として、月に2回、童謡名曲など様々な曲を伴奏し皆で斉唱している。また、アマチュア作詩家の作品集を出版する等、童謡の普及と継承に尽力している。